

⑦2 石巻南浜津波復興祈念公園整備事業

受賞機関 国土交通省 東北地方整備局 東北国営公園事務所、宮城県 土木部 都市計画課

宮城県 復興・危機管理部 復興支援・伝承課、宮城県 東部土木事務所、石巻市 建設部 都市計画課

キーワード 震災伝承のゲートウェイ（玄関口）、
土地の履歴、街の記憶、追悼と伝承の祈念公園

全建賞審査委員会の評価ポイント

国、宮城県、石巻市による公園整備事業。「街の記憶」などのメッセージ性の高いコンセプトと地域の自然環境・松原という文化の融和が図られたデザインが評価された。

1. はじめに

「石巻南浜津波復興祈念公園」は、東日本大震災により亡くなられた方々の追悼、震災の記憶と教訓の後世への伝承、国内外に向けた復興に対する強い意志の発信を目的に、宮城県及び石巻市が公園を整備し、国土交通省が、園内に「国営追悼祈念施設」を整備した。

公園整備に当たっては、「有識者委員会」により、基本設計や空間デザイン及び植栽計画を検討・立案し、平成29年3月に起工式を行い、工事に着手し、復興創生期間内の令和3年3月28日に公園が開園した。

2. 事業の概要

復興祈念公園の整備に向け、「有識者委員会」において検討を進め、市街化進行前の風景である湿地や池（善海田池）、松原を再現した「土地の履歴」、街が失われたことを震災の教訓とするため、震災前の街路を公園の幹線園路として再現した「街の記憶」、追悼・教訓の伝承及び復興への強い意志を発信するための「追悼と伝承の祈念公園」の3つの場所性を重ねたデザインコンセプトを基に、復興祈念公園の整備を推進した。



公園全景



市民活動拠点

3. 事業の成果

復興祈念公園の開園後、県内外を問わず、一般来園者や修学旅行・団体旅行者など、多くの方々が来園され、追悼、伝承、復興への強い意志の発信に大きな役割を果たしている。

園内に整備した「みやぎ東日本大震災津波伝承館」では、開館から1年で約5万人が来館した。

当館は震災伝承のゲートウェイ（玄関口）の役割を担っており、県内の震災伝承施設等へ誘うことにより、更なる効果発現が期待される。

また、園内には市民活動拠点があり、行政と多様な主体が連携し、市民参画・協働の取組を進めている。



みやぎ東日本大震災津波伝承館（外観）



みやぎ東日本大震災津波伝承館（館内）

4. おわりに

東日本大震災から11年が経過し震災の風化が懸念されるが、今後も、東日本大震災で亡くられた方々を追悼し、かけがえない命を守るために、記憶と教訓を永く後世に伝え継いでいき、全国、世界、更には次世代へとメッセージを繋げていく。

賛助会員 (株)熊谷組、日本工営(株)、遠藤興業(株)、若生工業(株)、(株)乃村工藝社